

# 1. 附帯意見について

## 附帯意見の位置づけ

本審議会は、市教委が平成25年に策定した「田川市立中学校 校区再編基本方針」に沿って、猪位金中学校（学園）を除く市内7中学校の再編について議論を行い、基本的な考え方と具体的方策提言をする会議体です。

しかし、市民を交えた再編の議論においては、猪位金学園の将来的な位置づけや金川校区の請願に関する問題が、再編議論の全体を左右するような状況となっています。

審議会の答申が責任ある提言となるように、前回まで議論した猪位金学園と金川校区の小中一貫校の問題について、審議会の考えを明確にする意味で、附帯意見を付します。

なお、審議会は、請願を受理して審議し、直接答えを返す立場にはありません。この附帯意見は、請願に対する考えを市教委に対して表明するものです。

## 会議の意見を踏まえたポイント整理

それぞれの附帯意見は、前回までの会議で出された意見をもとに、以下のポイントを踏まえて構成しています

### 《猪位金学園について》

- (1) 設置の契機は、通学距離が当時の文科省の再編基準に適合しなかったためである
- (2) 基本的には、どの校区の子どもたちも等しく適正規模校に必要な資質と学力を修得すべきである
- (3) 小中一貫校の成果をもって、小規模校の課題そのものは解消できない
- (4) 通学条件をクリアできれば、猪位金学園も再編を検討する必要がある
- (5) ただし、学校設置の目的（一貫校を設置した目的）はきちんと果たすべきである

### 《金川校区の請願について》

- (1) 地域の取り組みにより、子どもたちが落ち着き、成績が伸びたことは評価すべきである
- (2) しかし適正規模の環境で子どもたちの選択肢を増やし、視野や可能性を広げることを優先したい
- (3) 金川校区の誇りある地域の取り組みも大切にすべきである
- (4) 再編後もこれまで同様に子どもたちが地域活動に参加できる仕組みをつくる必要がある
- (5) 金川校区が持つ協働教育のノウハウや地域資源を、新中学校において広めてほしい